

# 高

巻頭  
インタビュー

# 野

# 之

豊島区  
長

# 夫

2015年に官民連携で建てられた、  
豊島区庁舎「としまエコミューゼタウ  
ン」内部の吹き抜けの前で。



## 「株式会社豊島区」で、稼げる自治体に

聞き手 ● 柏木正博 本誌編集・発行人 渡邊直樹 本誌編集長 構成・文 ● 丸山貴未子 撮影 ● 藤牧徹也

6年前、東京都23区の中で唯一、「消滅可能性都市」と  
宣告された豊島区は「ピンチをチャンスに」と、  
高野区長の強力なリーダーシップのもと、2020年を目標に  
次々とプロジェクトを達成してきた。  
その躍進の背景には何があるのか？

※インタビューは11月6日に実施しました。

### Yukio Takano

1937年東京都豊島区生まれ。  
60年立教大学経済学部卒業。  
83年5月～89年6月豊島区議会議員。  
89年7月～99年3月東京都議会議員。  
99年4月豊島区長に就任。2019年に6選を果たす。  
公益財団法人としま未来文化財団理事長。



## 5年間で約2万人の増加 税収が過去最高を記録

——前回の豊島区特集でお話をうかがってから5年が経ちます。今日はその後の豊島区についていろいろうかがえればと思います。

**高野** 前回はちょうど、新庁舎ができて間もなくのことでした。その後も走りながら考え続けていることに変わりはありませんが、あの頃からまちは目に見えて変わっていききました。「消滅可能性都市」に指摘されて政策転換をし、「持続発展都市」への移行が進んだ成果だと思っています。

待機児童をゼロにするため、保育園をできる限り造ったことや「女性にやさしいまちづくり」をしていることが周知されたためか、この5年ほどで人口が約1万8000人増え、納税義務

## ピンチをチャンスに まちを大きく 変えてきた

んでいます。このバスは未来形で、電気自動車で冷暖房なし。時速19kmしか出ないんですよ。一つは池袋のまちを観てもらおう観光が目的です。4つの公園すべてを歩いて周るのはなかなか大変ですから、バスで周っていただく。今はまだ赤字の赤バス（笑）ですが、皆さんに乗って楽しんでいただけるようになればうれしいですね。

今回は公園という枠組みを中心としたシンプルな提案でしたが、回遊性のあるまち全体が、持続可能な開発というSDGsの目標にも合致した。特に社会面で高い評価を得たようです。もともと「消滅可能性都市」から「持続発展都市」へというのが我々の目標であり、ピンチをチャンスと捉え、まちを大きく変えてきたことが、世界で今まさに求められていることでもあったわけです。

## 「国際アート・カルチャー都市」を目指して

——そこからさらに「国際アート・カルチャー都市」を目指されている。**高野** 豊島区は多様性のあるまちで、人口29万人のうち約3万人が外国人の方です。日本の人口が減っていく中、これからはやはり外国人の方の力を借

者は約2万1000人も増えたんですよ。おかげさまで、2019年は過去最高の税収入となりました。子育て支援にしても、就任以来大切にしている文化戦略にしても、財政の基盤がなければ思い切った予算編成ができませんから。

——文化戦略という意味では、19年には「東アジア文化都市」に選定されました。これは中国、韓国、日本からそれぞれ一自治体に参加し、文化交流を行うという催しですね。

**高野** 19年の開催は厳しい選考過程をくぐり抜けて、運良く豊島区で開催することができました。これまでの開催地は、最初が横浜市、次に新潟市、それから奈良市、京都市、金沢市と政令指定都市や古都ばかりで、どうなることかと思いましたが。

今回にしても中国の代表が西安市で人口1200万人、韓国の仁川広域市は300万人に対して、豊島区は人口29万人ですから。ですが、強がりではなく、文化に国境はないし、大きさも関係ない。文化は未来を作り、平和を作り出すんだということを両市に申し上げて対等に渡り合っていました。

その中心はアニメなんです。アニメは今世界中で愛されていますが、アニメりなければやっていけない。その点、豊島区は23区内で新宿に次いで外国人の方が多い下地があり、「東アジア文化都市」に選ばれたことで弾みをつけ、さらに外国の方が訪れやすい「国際文化都市」をつくり上げていこうと考えました。

また、私が常に申し上げているように、文化は心を豊かにし、まちににぎわいを創出し、平和と未来をつくり出します。SDGsを通して、30年に「国際アート・カルチャー都市」の実現を目指すというのが、区の基本戦略です。

——昨今の国際情勢を見ると、どうもSDGsの理念に逆行するようないところがあります。国連が旗を振るよりに、むしろ豊島区のように行政の基礎自治体が「我がまちではこういうことをします」と発信する方がよほど効果があるように思います。**高野** ありがとうございます。

メの原点はマンガであり、豊島区にはマンガの原点であるトキワ荘がある。これが非常に効きましたね。

「東アジア文化都市」選定を機に、複合商業施設「Harera池袋」の開業や公園の整備など23のまちづくりプロジェクトもスタートしました。五十年前、東京オリンピックをきっかけに東京のまちが大変貌したように、今回のオリンピックというチャンスを活かして豊島区を大きく変えよう、そこまでにプロジェクトを仕上げようという目標を持って取り組んできました。残念ながらオリンピックは延期になりましたが、目標はほとんど達成しています。

## 「SDGs未来都市」 「自治体SDGsモデル事業」に

——まちづくりプロジェクトにも入っていますが、グローバルリングという立派な野外劇場ができて、池袋の西口はずいぶん印象が変わりました。

**高野** 最高の音響と最高の照明がそろった、超一流の野外劇場ができあがりました。それにふさわしいプログラムをとということで、幕開けはコバケンの愛称で知られる小林研一郎さんの指揮で歌劇「アイダ」より凱旋行進曲な

どが演奏されました。その後も女性指揮者の西本智実さんをお迎えするなど数々のコンサートが行われています。かつての西口公園をご存じの方はあそべられないとおっしゃいますが（笑）。

——西口公園を含む池袋周辺の4つの公園はSDGsのモデル事業にも選ばれましたね。**高野** 20年の7月17日に内閣府から「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」にダブルで選定されました。ダブルの選定は東京都の自治体では初めてのことです。

30年に「誰一人取り残さない社会」を実現するのがSDGsの目標で、豊島区は「公園を核にしたまちづくり」を切り口に申請しました。経済、社会環境の3側面をつなぎ、循環させて相乗効果を生み出すことがSDGsの理念でもありますから、今、話に出た「池袋西口公園」「南池袋公園」「中池袋公園」としまみどりの防災公園の4つの公園を循環する、真っ赤な「イケバス」も作りました。

——全部で10台あるうち1台は黄色いバスで、それを見ると1日ラッキーと言われているか。**高野** 「幸せの黄色いバス」と私は呼



高野区長が襟につけるバッジの17色は、同じ数だけあるSDGsのゴールを表し、それはそのまま区の目標でもある。

## 独自のコロナ対策で 夜の街感染に勝利宣言

——コロナ禍に対しては、どのような対策を実施していますか。

**高野** 豊島区方式で独自の対策をとり、特別な財政出動もしました。国と東京都もかなり手厚いコロナ対策を実施していますが、豊島区はその網の目から漏れるような細かい部分に集中してお金を注ぎ込んでいます。

一度いわたる夜の街感染で、池袋のホストクラブにクラスターが発生し、

新宿を上回る感染者が出て、マスクにも大きく取り上げられました。皆が豊島区のクラスターへの対応を注目している中、これは徹底して対処しなければと考え、感染者がいるいないに関わらずホストクラブの全店でPCR検査を実施。ホストクラブが約240軒ある新宿に比べ、池袋には9軒しかないのです、可能なことでもありました。

保健所としては、疫学調査の考えから、「感染者が出てから周辺の人を中心にPCR検査をすればよいので